

講演会② 2024年6月8日(土)
主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会
共催：株式会社 メディカルアーツ

「不登校・行き渋りの子どもたち の対する支援の在り方」

- 支援が必要子どもの高校進学は小学校からの準備が大切
- 支援が必要子どもを受け入れる高校の種類と内容

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 代表理事・協会長
中部学院大学 非常勤講師 山内康彦(学校心理士SV・ガイダンスカウンセラー)

急増する『不登校』の実態は……

最新(令和3年度)の文部科学省の
データによると……
☆小学生の77人に1人が不登校
→各学年に1人
☆中学生の20人に1人が不登校
→各クラスに2人
不登校になってから病院へ行って診断名
をもらうケースが急増→手遅れ?
☆小中学校の通常の学級における
発達障害の児童生徒は、8.8%!

急増する『不登校』の原因は……その1

なぜ中学校に入ると不登校は急増するのか?

- ▲担任が毎時間替わる(教科担任制)
「指導・言うことが違う」 例えば……
- ▲宿題がまとめて出る
小学校は計ド・漢ドが少しずつ 中はまとめて
- ▲部活動の人間関係や上下関係
理不尽な命令やきまり……そして補欠扱い
- ▲学習内容が急激に難しくなる
暗記内容が急増する
- ▲テスト中心の評価
単元テスト・期末テスト・実力テストで悪い成績

急増する『不登校』の原因は……その2

ひたすら待つ支援で時間だけが過ぎる

- ▲無理はいけません。待ちましょう。
いつまで待つのか?→それはわかりません。
- ▲本人のエネルギーを蓄えましょう
ゲームばかりで何が蓄えられるのか?
- ☆不登校・引きこもりから立ち直るには
倍の時間が必要と言われています
→早期の手立てが大切です。

※具体的な支援方法はこの後の事例で紹介!

急増する『不登校』の原因は……その3

最新の文部科学省のデータによると……

様々な理由が考えられる中、この1~2年の急増の
背景には……

コロナウィルスの休校により休むきっかけを作った

発達障害の傾向のある子は不登校になりやすい!

- ▲「休んでもいいんだ!・こんな楽な世界がある」
どうしても楽な方を選択してしまう傾向がある
- ▲依存性が高い特性をもっている
- ▲もともと集団生活を行う学校が好きではない。
- ▲学習能力にも課題があり、勉強が好きではない。

急増する『不登校』の原因は……その4

- ①低学年の不登校は、感覚的なことが原因
たくさんの人・ざわざわ感・怖い先生
- ②中学年~高学年の不登校は、「10歳の壁」が原因
「10歳の壁」とは何か?
定型発達の子どもは、4~5歳で分かる
知的に遅れのない自閉症は10歳頃分かる
まわりのことがわかるようになってくる。
※告知するにはよい時期と考える
→俺は馬鹿だ! 死んだほうがいい!
※不登校が出てくる原因となる

その結果・・・現在19歳～65歳まで・・・

300万人～500万人の引きこもり？
→大人になってから行き先がない
※正確な数字はわかっていない！
※中途半端な引きこもり状態もある！

- (例1) 北海道札幌の殺人事件
- (例2) 長野の銃乱射、警察官等殺人事件

無理をさせないことは重要であるが・・・
「子どもがエネルギーを蓄えるまで待ちましょう」
では改善が見られるケースは少ない！

不登校や特別支援学級から進学できる
『様々な特別な高校の例』

- ①公立の定時制高校や単位制高校
☆新規：インクルーシブ枠
- ②特別支援が必要な生徒を受け入れてくれる私立高校
- ③通信制高校（サポート高校）
- ④専修学校（通信制＋専門学校）

①公立高校 特別支援対応校例 (定時制・単位制・インクルーシブ枠・通級)

- 定時制高校・・・◎安い ○4年制も有
(今は、“夜間”とは限らない)
- 単位制高校・・・◎安い ◎登校が少
(学校によって様々な仕組み)
- インクルーシブ枠
(通常の高校に特別枠が数名ある)
- 通級・・・小中と同様の制度が高にも
(まだまだ見切り発車のところがある)

②私立高校 特別支援対応校例 (実質少人数で丁寧な支援・指導)

- 支援学級や内申点がなくても受け入れOK
- 卒業後の推薦枠を多く持っている
- ※高校から中学校に事前の説明に来ている
- ※中学の先生に問い合わせれば教えてもらえる
(例)
本当の定員は1クラス40名であるが・・・
実際は20名程度で手厚い支援が受けられる
- ※例：神奈川県内で有名なのは星槎中・高校

③通信制高校の例 (たくさんの支援が必要な生徒も受け入れ可)

- 出席日数に対して理解がある
- 74単位で高卒という、少ない学習内容
- 少人数・個別中心の指導
- ※「スクーリング」には参加する必要あり
- ▲学費が通常の高校より高めのところが多い
- ・通信制高校行っても色々なタイプがある
- ※このあと詳しく説明します

講師の山内が関わっている通信制高校の例

明蓬館SNEC高等学校での実践例から 明蓬館SNEC高等学校とは

- 発達に課題があったり、不登校傾向があったりする生徒のための通信制サポート高校
- ◎公認心理師等、専門の心理職が常勤で対応
- ◎登校スタイルは、その子に合わせて
- ◎個別・少人数指導中心の授業スタイル
- ◎中学からの学び直しも高校の授業の単位として認定（高校数学入門等）
- ※お近くでいえば・・・品川校や横浜関内校がある
(中等部も新設！小学生からの相談も受け付け！)

④専修学校(高等課程)の例 (専門学校と通信制高校が合体！)

- 「調理」「美容」「商業」「洋裁」「工業」など本人の興味のある内容が、学べる
- 高卒資格と専門学校資格のW卒業証書
- ▲受け入れはするが・・・少人数指導は難しい

※朝から毎日、ぎっしり授業が入っている
▲学費が通常の高校の二倍近く必要になる
→(※専門学校の学習も入るため)

入学できることより「卒業できる」学校か？ 『卒業後の進路は大丈夫か？』を考える

《進路選びのポイント》

- ①入学試験は何か(学力試験の有無・面接)
- ②進級・卒業の条件
(期末試験の有無・卒業単位数74~110)
- ③先生の専門性(どんな先生がいるのか)
- ④出席日数が一定量必要な学校なのか
- ⑤少人数・個別対応をしてくれる学校か？
- ⑥卒業後の進路や就労の面倒を見てくれるか
- ⑦授業料がトータルいくら必要か？

高校を卒業した後について (卒業証書の紙切れだけでは意味が無い)

- 大学・短大へ進学する
 - 専門学校へ進学する
 - 就職する
- 上記の3つに行くことができればよいが・・・
- 究極の福祉サービスとして・・・生活介護
 - 就労移行支援事業
 - 就労定着支援事業

通信制サポート校を使って復活したA男の事例

《実態》不登校後通院→ASD・ADHD
・小5から保健室登校・中学校は完全不登校
・一日中、ゲームとYouTube
しかし・・・「高校は卒業したい」と言う
・学力は小6でストップ →行き先がない

- ◎まず通信制サポート高校で15時から登校
- ◎マンツーマン指導から→少人数指導へ
- ◎仲間の影響で、専門学校へ進学したいと夢が広がる→2年時の秋から午前登校ができるようになってきた。

放課後等デイを使って復活したB女の事例

《実態》不登校後通院→ASD・LD
・小1から不登校ぎみ・登校は一週間に一度
・集団が苦手マイペース 書字障害もある
しかし・・・「高校は卒業したい」と言う

- ◎学校へ行かなくても放課後等デイには行く
→医師の意見書(※教育委員会と学校の理解)
- ◎朝起きて→出かける→夜寝るの生活リズム
- ◎「個別・少人数」対応の通信制高校に通う
- ◎将来は動物系の専門学校に通いたいと言う

子ども達は、大人の姿勢を見ている

ドラえもんの世界でも同じ

(例) しずかちゃんは、誰とでも、何処へ行ってもかわいがられる
しかし、のび太は、ジャイアンやスネ夫の所へ行くといじめられる。→相手を見るようになる
☆まずは、共感して理解してあげること！

子どもたちにやらせる方法(2)

取り組ませ方の工夫

×親や先生が決める

- ・僕が決めたんじゃない

◎本人に選択させる

- 選択するとは本人が決めたこと
- メリットとデメリットを事前に説明

×本人に考えさせる

- ・そうなるとは思わなかった
- ・わかっていたらやらなかった

もぐら叩き教育はダメ

幹を見て、本質、原則で指導方法を考える

□絶対にやらせること

- ・大人になったらやること

■ゆるすこと・ある程度見逃すこと

- ・大人になってやらないこと

①不登校傾向から脱出した例 その1

○医師からは、「登校刺激与えるな」

○学校の先生は登校させたい！

□どうすればよいか悩む母親

☆保護者に登校刺激を与える！？

◎保護者と学校とデイが協力体制

◎登校できなくても家から出る習慣！

◎運動会をきっかけに学校に興味！

◎保護者と学校が連携して登校機会を徐々に増やしていった

②不登校傾向から脱出した例 その2

○学校内で保健室に行く機会が増える

○学校の先生は「保健室に行くな！」

→ますます保健室に行く機会が増加

□どうすればよいか悩む母親

☆ヘルプカードの作成

→1日1枚！1時間保健室に行ける
カードをつくり渡す。→安心感

◎ヘルプカードを使いながら溜める！

◎保健室へ行く機会が減少していった

③成績が伸び悩んでいる子への支援

▲目先の支援が子どもを不安にさせる

☆早期に進路の明確化

通知表の評価を気にしなくて良い高校

→通信制サポート高校等への見学

「ここならできる」「僕らも行ける」

◎特に関東周辺にたくさんある！

通知表（成績）は、通常の高校を受験するから必要になるだけ！

④学習意欲の低い子への支援

▲内容や量が合っていないことが原因

▲本当にやらなくてはいけない内容か

☆個別の塾がある

☆学習支援に特化したデイがある

お子さんに合った場所を探すこと

家庭内では難しい！

《選ぶポイント》

◎理解ある職員の個別対応があるか？

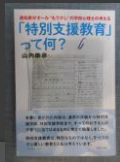
◎その子に合った学習内容がやれるか？

ご清聴ありがとうございました



オススメ ほめる育て方や進路についてわかる本！

- ①特別支援教育って何？
 - ②特別支援が必要な子どもの進路の話
 - ③特別支援が必要な子どもの「就労・進学・進路」相談室
 - ④特別支援が必要な子どもの高等学校進学の話→※新刊
- WAVE出版→書店・アマゾン等で購入可能！



山内先生の無料個別相談会

6月22日（土）
9時半～20時まで
【お一人25分】

- 将来の進路・就労についての相談
 - 療育・受診を受けようか迷っている方
 - 園や学校との連携に悩んでいる方 など
- ※メールまたは電話等でお申し込みください。

